

国交省 TEC-FORCE からの機材援助等で安全・迅速に土砂撤去を完了

◆アピールポイント	令和6年9月19日(木)、22日(日)に発生した崩土による林道東俣線上の土砂撤去に関する、国土交通省 TEC-FORCE からの支援等について、報告します。
◆内容	<p>1 概要</p> <p>葵区田代の林道東俣線は、令和6年9月19日(木)と22日(日)に発生した法面崩壊による崩土で、大量の土砂※が路上を埋め、通行止めとなりました。※19日の崩土では推定約700m³、22日の崩土では推定50m³</p> <p>県の協力などにより、通行止めで孤立してしまった方々の輸送は、21日(土)の10時30分までには完了しましたが、安全かつ迅速な林道上の土砂撤去が大きな課題でした。</p> <p>そこで、災害時に地方公共団体を支援する緊急災害対策派遣隊である国土交通省 TEC-FORCE に支援を要請しました。</p> <p>2 国土交通省 TEC-FORCE による支援内容</p> <p>林道上の土砂撤去作業は、再度の崩土を警戒しながら行う必要がありました。</p> <p>そこで、国土交通省 TEC-FORCE に支援要請したところ、人が運転する掘削機械(バックホウ)に取り付けることで無線遠隔操作が可能となるロボット操作装置(ロボ QS)1台を、21日(土)から、技術者とともに派遣いただけるとなりました。</p> <p>これにより、崩土の状況から二次災害の可能性が高く、人による運転では安全が確保できず作業が滞る可能性がある中、遠隔操作による無人バックホウでの土砂撤去が可能となり、安全かつ迅速に作業を進めることができました。</p> <p>3 建設事業者の対応</p> <p>現場では、(株)ヤマエイ長島建設(葵区井川)、大昌建設(株)(千葉県)、(株)特種東海フォレスト(島田市)が、崩土の状況が日々変わる中で、困難な遠隔操作での作業に従事いただきました。</p>

別紙資料 (ロボQSや現場での作業写真)

【問合せ】

建設政策課(静岡庁舎6階) 担当 大島、尾崎

電話 054-221-1446



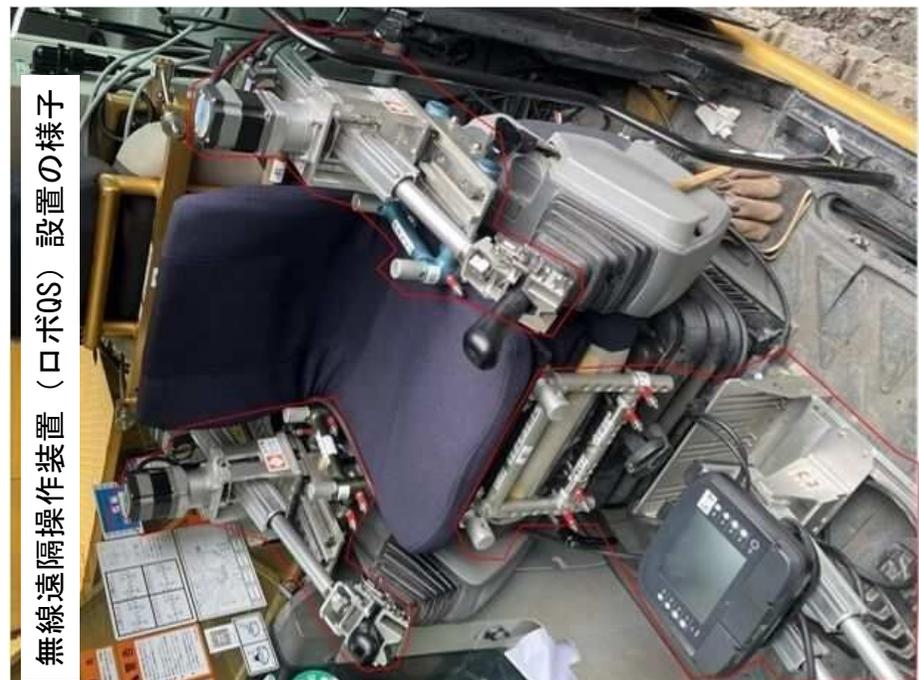
TEC-FORCEから操作方法の説明を受ける様子



無線遠隔操作による土砂撤去の様子



上空からの土砂撤去作業の様子



無線遠隔操作装置 (ロボQS) 設置の様子